



ながら SDGs 通信 第 15 回 目標 12. つくる責任 つかう責任

12 つくる責任
つかう責任



長柄町タウンアドバイザー／千葉大学大学院国際学術研究院 田島翔太

「目標 12. つくる責任 つかう責任」は、「持続可能な消費と生産」がテーマです。

世界の人口は増え続け、現在の 80 億人から、2050 年には 97 億人になると言われています。その間、世界中の多くの人たちが「中間層」と呼ばれる、購買力があり、豊かな生活を望むようになります。人々はこれまで以上にたくさんのモノを「消費」し、そのために企業は地球環境を守りながらたくさんのモノを「生産」しなければなりません。

現在、世界全体で生産される食糧の約 3 分の 1 が、未開封で廃棄されているというデータがあります。目標 1 の貧困や目標 2 の飢餓への影響もさることながら、食糧を生産するためにはたくさんの水やエネルギーが必要です。今後人口の増加と中間層の増加によってその需要が高まっていくことを考えると、私たち一人ひとりが「消費」の行動を見直す必要があるかもしれません。

【出典】国連広報センター（2019）「責任ある消費と生産はなぜ大切か」